

令和8年度広島県薬物乱用 対策推進本部会議資料		全国及び広島県内における 令和7年中の薬物情勢について					令和8年6月12日 広島県警察本部				
1 薬物事犯の取締り状況について（全国・広島県）											
1 薬物事犯検挙状況	全国					広島県					
	R5	R6	R7	R8	前年同月比	R5	R6	R7	R8.5末	前年同月比	
総検挙人員	13,330	13,462	14,574	0	0	170	195	200	89	1	
総検挙件数	18,088	18,846	21,958	0	0	245	272	330	159	36	
覚醒剤	検挙人員	5,914	6,124	6,395	0	0	74	105	86	38	-2
	検挙件数	8,440	9,038	9,585	0	0	120	146	139	67	11
大麻	検挙人員	6,482	6,078	6,832	0	0	85	81	103	47	3
	検挙件数	8,034	7,649	9,834	0	0	101	108	169	82	21
麻薬・ 向精神薬	検挙人員	928	1,250	1,334	0	0	5	2	11	4	0
	検挙件数	1,608	2,151	2,528	0	0	11	9	22	10	4
あへん	検挙人員	6	10	13	0	0	0	2	0	0	0
	検挙件数	6	8	11	0	0	0	1	0	0	0
2 薬物種類別押収量	全国					広島県					
	R5	R6	R7	R8	前年同月比	R5	R6	R7	R8.5末	前年同月比	
覚醒剤	1,342.9	1,409.0	1,628.6	0.0	0.0	88.6	219.8	55.896	20.225	9.022	
大麻・ THC	乾燥大麻	784.5	318.0	428.4	0.0	0.0	3,605.2	5,690.3	4,233.4	55.815	-2412.363
	大麻草(本)	9,312	5,877	4,503	0.0	0.0	7	11	539	0	-539
	大麻濃縮物	4.0	28.7	315.3	0.0	0.0	127.80	8.000	24.270	3.234	-1.326
麻薬・ 向精神薬	コカイン	53.4	247.2	226.9	0.0	0.0	214.7	0.3	35.209	105.519	105.519
あへん	0.0	2.5	1.9	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	
※単位：全国～キログラム（kg）・広島県～グラム（g）。（大麻草を除く）											
2 令和7年中の広島県内の薬物事犯の情勢等について											
○ 検挙人員は200人で、前年から5人増加した。 このうち、覚醒剤事犯の検挙人員は86人と前年から19人減少したものの、依然として薬物事犯検挙人員の約43%を占めている。											
○ 大麻事犯の検挙人員は103人で、過去最多となった。 大麻事犯の検挙人員の約75%が30歳未満である。											
○ 薬物事犯の再犯者は95人（約48%）で、このうち覚醒剤事犯の再犯者は62人（約72%）である。											
○ 押収状況については、覚醒剤・乾燥大麻ともに前年から減少し、大麻草・大麻濃縮物・コカインは増加した。											
○ 令和7年4月から6月まで間、大麻・けしの不正栽培事犯の取締りを実施した結果は、											
・大麻事犯の検挙状況 47件 24人											
・大麻押収状況 乾燥大麻2458.238グラム 大麻草539本											
・けしの除去状況 10,993本											
である。											
【令和8年5月末現在の情勢】											
前年同月比で検挙人員は若干増加しており、大麻事犯は過去最多となった前年より増加傾向で依然若年層の検挙が増加している情勢にある。											